



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2

秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

江の島

東京五輪 2020

セーリング競技の成功を目指して

セーリングワールドカップシリーズ2018

江ノ島大会開催

藤沢市ヨット協会

「セーリングワールドカップシリーズ2018」が、9月9日から9月16日まで江ノ島ヨットハーバーで開催され、日本選手は金・銀・銅の3つのメダルを獲得した。

金メダルを獲得したのは、男子470級（ヨシナナマル級）の岡田／外蘭組。銀メダルは女子470級の吉田／吉岡組。銅メダルは男子470級の高山／今村組。毎日大きく天候が変わる中、風の強弱やうねりの有無にかかわらず、安定したレースをした。

今大会はおよそ50カ国から600人の世界最高峰の選手が集い、艇種毎に10クラスにそれぞれ出場した。大会期間中はおおよそ1万人が江ノ島ヨットハーバーを訪れた。

2020年の東京オリンピックでセーリング競技の会場となる江ノ島で、選手や運営役員にとり、練習となる大会でもあった。セーリングワールドカップは来年2019年、再来年の2020年にも江ノ島での開催が予定されており、着々とオリンピックの準備が進められている。

今回銀メダルを獲得した吉田／吉岡組は今年8月にデンマークで行われた世界選手権で優勝している。現在も江ノ島を拠点に活動しており2020年の東京オリンピックはホームポートでの開催となる。益々の活躍を期待し応援したい。

ヨット協会 柳 慶子

W杯レース風景

江の島オリンピックウィーク 2018 開催

9月21日から24日までの4日間、五輪金メダリストから次世代のユースセーラーまで、28か国・地域から377人が参加した「ASA F江の島オリンピックウィーク2018」が開催されました。

日本勢では470級男子・女子、レーザ級、RS:X級女子、420級の5クラスで金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル1個を獲得しました。

藤沢市にゆかりの吉田愛（日大生物資源科学部出身）／吉岡美帆（市内在住）の組は、40艇が出場した470級男子・女子で総合5位となり女子優勝で金メダルを獲得しました。なお岡田奎樹／外蘭潤平組が総合優勝し金メダルを獲得しました。

また、RS:X級女子で大西富士子が総合2位で銀メダルを、レーザ級の南里研二が3位で銅メダルを、420級で山口県立光高校の玉山義規／高



470級レース

菅峻組が金メダルを獲得しました。（平山）

藤ヶ岡中学校が県大会で優勝 関東大会・全国大会に出場



県大会で優勝

は、あまり例がなく、
藤沢勢同士の決勝

に進んだ。

5対4と勝ち、決勝に

の同点の末、PK戦で

3対3

で横浜地区1位の桐蔭

学園と対戦し、

1と勝ち進み、準決勝

5対1、5対1、2対

1と勝ち進み、準決勝

で川崎地区1位の桐光学園と対戦

し、1対0で勝利し、失点1という

堅実な守備で、決勝に進んだ。

湘南地区1位で大会に出場した

鶴沼中は、初戦から、

5対1、5対1、2対

1と勝ち進み、準決勝

で横浜地区1位の桐蔭

学園と対戦し、

3対3

で横浜地区1位の桐蔭

藤沢のアスリートの活躍

2018年度後半に、様々な大会で活躍した選手たちを紹介

● バレーボール

羽鳥小学校を中心に活動している「羽鳥バレーボールスポーツ少年団」が、県の第39回県小学生バレーボール大会（女子）に出場し、40チームの中で優勝し、関東大会に出場することになった。



● ゴルフ

県知事杯争奪オールかながわスポーツゲームズ市町村対抗ゴルフ大会において、藤沢ゴルフ協会から選出された5人の藤沢市チームが、2002年以来の優勝を遂げた。5人がそれぞれ力を発揮して栄冠を得た。



● 野球

藤嶺学園藤沢高校のOBチームが、県代表として「マスターズ甲子園」に出場する。30チームが参加する県予選で勝ち、出場を決めた。野球を通しての世代を超えた交流が、選手の心に残る。



● 柔道

平成30年関東柔道形競技大会（8月、千葉県）の「柔の形」の部において、県選手権大会優勝の堀内美香初段と神尾初江4段が、見事に準優勝を果たした。

5月に行われた、「日本ベテランズ国際柔道大会」で、木本献治4段がM7クラスで優勝、阿部守5段がM8クラスで3位、齋院志津子5段がF8・F9混成クラスで優勝と、ベテランのパワーを発揮された。



神奈川スポーツ賞に輝く

湘南工科大学附属高校3年生の小堀優加選手は、9月に福井で開催された国体の水泳競技、400m自由形で2連覇を達成するとともに、8月のパンパシフィック選手権大会での活躍、アジア大会での800m、1500mでの銅メダル獲得など、日本はもとより世界の舞台で活躍した。その実績から、今年の神奈川スポーツ賞を受賞された。藤沢ゆかりの選手として、その活躍は目に見張るものがある。東京オリンピック・パラリンピック2020に向けてさらなる飛躍を期待したい。



藤沢市ラグビーフットボール協会

ラグビーワールドカップ2019

世界のラグビーが神奈川にやって来る！

横浜国際総合競技場（日産スタジアム）へ世界のラグビーを見に行こう！

日本全国12会場：2019年9月20日～11月2日（決勝・横浜）

広告募集

体育協会では、広報誌とホームページに広告を掲載することとしました。広報誌では、今回の100号から掲載しています。皆様のご応募をお待ちしています。

申し込みの詳細については、体育協会事務局までお問い合わせください。

『ふじさわ体協』

100号の発行にあたり

藤沢市体育協会会長

大縫 光宏

このたび本会広報誌「ふじさわ体協」が昭和60年7月創刊号を発行して以来33年の年月が経ち100号を迎えることができました。先輩諸氏の弛まぬ努力とスポーツによせる情熱、本会の発展にご尽力を賜りました先人の皆様に敬意を表し感謝を申し上げますと思います。

申すまでもなく、スポーツ界にとつて情報提供、広報、宣伝等広報部会の存在は極めて大であります。

平成19年4月よりホームページ

を開設。32競技団体の大会結果、記録、諸事業等がいつでも見ることが出来るようになりました。スポーツを通して社会の活性化を図り、より多くの市民がスポーツの参画、実践を促していただき、効果的な広報、宣伝活動を社会的貢献に積極的に取り組んでいかなければなりません。

スポーツには社会に貢献できる力があります。そのスポーツの力を私たちは理解しそれを発信していかねばなりません。より良い社会の構築に貢献していきたいと強い思いがあります。市民の皆様信頼される体協として倦まず、弛まず目標に全力で取り組んでまいりたいと思います。

『ふじさわ体協』

100号の発刊記念によせて

藤沢市長

鈴木 恒夫

「ふじさわ体協」の100号発刊を心よりお祝い申し上げますとともに、体育協会の皆様におかれましては、昭和21年に体育連盟として発足以降、市民スポーツの普及振興ならびに体育文化の高揚にご尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

スポーツは、体力向上、精神的な充実、成人病予防等、心身両面の健康保持に効果があるとともに、昨今の人

間関係の希薄化や超高齢社会において、地域コミュニティで健康で楽しく過ごすための生きがいづくりや仲間づくりのきっかけにもなります。

本市は、「健康寿命日本一」を目指し、リーディングプロジェクトを策定する等、取り組みを行っているところですが、その実現にスポーツは欠かすことのできない非常に重要な要素であると考えております。

今後とも引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、藤沢市体育協会のますますのご発展と皆様の「活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

『ふじさわ体協』

100号の発刊記念によせて

藤沢市議会議長

松下 賢一郎

藤沢市体育協会の広報機関紙「ふじさわ体協」が記念すべき100号に到達されましたこと、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から本市のスポーツ発展と振興に大きく貢献されていることに対して、心から感謝を申し上げます。

さて、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が2年後に迫ってまいりました。自国開催のオリンピック、そして地元

開催のセーリング競技大会は、若い選手や将来を担う子どもたちにとって、大きな目標となり、励みとなることでしょう。

世界共通の文化であるスポーツが、今以上に地域に根付き、地域への誇りと愛着を喚起させるものとなりますよう、貴協会の皆様におかれましては、引き続き、ご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、藤沢市体育協会の益々のご発展と、関係者の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

『ふじさわ体協』

100号を祝って

藤沢市教育委員会

教育長 平 岩 多恵子

このたび、藤沢市体育協会広報機関紙「ふじさわ体協」が100号を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。創刊号を昭和60年（1985年）7月に発刊してから、1年に3回のペースで、34年の長きにわたりその年々の記録として発刊し続けてこられた藤沢市体育協会のみな

さまの熱意に敬意を表します。

「ふじさわ体協」を紐解いてみましたら、ゆめ国体のこと、卓球協会

が福原愛選手を招致したこと、ソフトボールの山田選手や自転車石井選手に藤沢市スポーツ栄誉賞が贈られたこと、湘南藤沢市民マラソンのことなどが掲載されていました。まさに、「藤沢のスポーツの歴史を語る広報誌」であり、今後、東京2020オリンピック・パラリンピックの話題も掲載されることと楽しみにしております。

「ふじさわ体協」を通して、スポーツを愛する仲間たちの「人の和」と「元気の輪」がますます広がっていくことを期待し、お祝いの言葉といたします。



各協会からのメッセージ

●「ふじさわ体協」第100号の発行おめでとうございます。

毎号、様々な情報を楽しみに読ませていただいております。広報部会の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

今後ますますご発展されますことをお祈り申し上げます。

藤沢市陸上競技協会

●「ふじさわ体協」100号誌発行素晴らしいです!!

今迄の先輩方の地道な藤沢におけるスポーツ活動報告ですが、「2020オリパラ」に向け、そして、今後とも藤沢市民に親しまれるスポーツ活動を32団体が一致協力し、発刊したいものです。

藤沢市野球協会

●広報紙「ふじさわ体協」100号の発行誠におめでとうございます。

このたびの100号を機に、益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

藤沢ソフトテニス協会

●創刊号が昭和60年7月1日に発行されてから事務局及び広報部会の皆様のご努力により記念すべき100号が発行されることに敬意を表したいと思います。

卓球協会の思い出の記事は県民総合体育大会で卓球チームが六連覇をなしたことがかと思えます。

藤沢市卓球協会

●「ふじさわ体協」100号刊行おめでとうございます。広報部会の皆様方のご尽力で、毎号体育協会の事業や各加盟協会の様子をお伝えいただき、ありがたく思っています。体育協会並びに加盟協会のさらなるご発展を祈念いたします。

藤沢市水泳協会

●藤沢市体育協会広報紙が東京五輪2020の開催2年前に、100号を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。高校サッカーの活躍など多くの記事を掲載していただき感謝申し上げます。藤沢のスポーツ界のリード役として一層の発展を期待しています。

藤沢市サッカー協会

●ふじさわ体協100号の発行おめでとうございます。登山やスポーツクライミングの魅力、我々の活動内容など、広く発信できる場を提供していただきありがとうございます。今後のさらなる発展をお祈りいたします。

藤沢市山岳・スポーツクライミング協会

●この度は記念すべき、広報100号発行、誠におめでとうございます。

長きに亘り、広報発行に携わられた、広報部会の皆様方、本当にご苦勞様です。そのご努力に心より敬意を表します。各加盟団体の、きめ細やかな情報を一人でも多くの市民の皆様方に、ご愛読戴けます様に、配布の有り方も含め、今後とも末永く、充実した広報が発行されることを、ご祈念申し上げます。

藤沢市ソフトボール協会

●広報「ふじさわ体協」100号発行おめでとうございます。

藤沢市テニス協会は60の加盟団体と協力しテニス競技の普及発展のため、事業、大会、教室等積極的に実施し、更にシニア、ジュニア関連事業にも一層の尽力しております。

藤沢市テニス協会

●「ふじさわ体協」100号の発行おめでとうございます。

藤沢市体育協会広報紙が昭和60年7月に発行以来、藤沢市内のスポーツ関連情報の収集と編集にご担当者のご尽力に改めて感謝致します。

藤沢市ラグビー協会

●創刊100号おめでとうございます。

時代の流れとともに健康やスポーツに対する考え方の変化を感じるところですが、今後も、体力向上、競技力向上の支援となる市民密着の広報活動を期待します。

藤沢市体操協会

●100号発刊おめでとうございます。

藤沢市ヨット協会は1990年12月に江ノ島で活動するセーラーを中心に設立し、91年4月に藤沢市体育協会へ加盟し、27年が経ちました。これからも江ノ島・藤沢市の海の活動を応援していきます。

藤沢市ヨット協会

●創刊100号にあたり、心よりお祝い申し上げます。

30年以上の長い年月をかけ発刊されたご尽力に敬意を表します。これからも市民スポーツの普及、振興の広報誌として益々ご発展することを、ご祈念いたします。

藤沢市ゴルフ協会

●「ふじさわ体協」第100号発行おめでとうございます。

太極拳連盟は第35号(平成9年)に新規加盟団体として紹介されて以後、太極拳の普及、技術の研究向上、健康寿命の向上、相互親睦を図りながら活動しています。

藤沢市太極拳連盟

●100号を達成されたことをお祝い申し上げます。

広報部の先輩諸氏のご努力の賜物であり感謝を申し上げます。今後市体育協会加盟団体の大会・行事等の豊富な記事に期待いたします。

藤沢市グラウンドゴルフ協会

●昨年にお陰様を持ちまして設立20周年を迎えることができました。

日頃からジュニアからシニアまで幅広い生涯スポーツとして、市内4か所で開催しています。これからもアーチェリー競技の素晴らしさを伝えて参ります。

藤沢市アーチェリー協会

●体育協会広報誌100号発行おめでとうございます。

他種目協会の記事等、毎回楽しく拝見させていただいています。広報部の皆様の平素のご支援に感謝いたします。

藤沢市バウンドテニス協会

●広報誌「ふじさわ体協」創刊100号おめでとうございます。

発行に携わっておられる方々のためまぬ努力の賜物と敬意を表します。今後とも体育協会の広報誌発刊を続けてスポーツの楽しさを広く市民にアピールしてください。

藤沢市ダンススポーツ連盟

●新加盟団体としてカヌー協会の紹介記事が掲載されたのが、平成21年の72号でした。

それから9年、創刊から33年で遂に100号に到達した「ふじさわ体協」。まさに「継続は力なり」を体現した偉業として讃えたいと存じます。

藤沢市カヌー協会

●記念すべき100号広報誌おめでとうございます。今後も藤沢市体育協会のPRをよろしく願います。ここでエールを送ります。

「かーがーやーけー!ふじさわ体協 広報誌!」

藤沢市バスケットボール協会



バドミントン協会 として今

協会がジュニアを指導するきっかけは、20年くらい前のことです。体育館で、小学生のお母さんたち10人くらいがバドミントンをしている折、子どもが隅でゲームをして遊んでいました。お母さんたちに、子どももバドミントンをと話すと、仲間の子どもたちが20人くらい集まったので、鶴沼小体育館使用の許可を取り、練習することになりました。

6年生男子が中学生に進むとき、鶴沼中学の部活がなくなるとい話を聞き、子どもたち4〜5人が中学に行き、校長先生にバドミントン部をなくさない様お願いしましたが、残念ながら実現しませんでした。鶴小では、子どもの参加者が増え、中学生までは無理となり、中学生の親が秩父宮記念体育館を使えるよう手続きし、練習することができました。

中学1年の終わり頃、「今、部活を復活させない」と言われ、鶴中のOBに話をし、部活が出来るようになり、子どもたちも練習に励み、大会では上位の成績を残せるようになりました。

小学生の部は、秩父宮体育館で教室としても、子どもを指導し、スポーツ少年団にも登録して、大会に参加する楽しみを知るようになりました。

始めた頃の子どもと、今の小・中学生とは、人間として何か違いがある。



今の子は自分の主張をあまり出すことがないが、もう少し自分を出せるようになってくれたらと思います。私たち指導者は、強いだけでなく、人として気遣いが出来る子どもになってほしいです。

これから、協会は、レディース及びジュニアとともに発展できることを願っています。
(理事長 野田豊子)

陸上競技協会の活動



本協会では、300人(審判登録を含め)の登録者と小・中・高校生の競技者で組織され、それぞれの事業に取り組んでいます。

県立体育センターの改修工事の関係で、協会として一番大きな事業である藤沢選手権が他市の競技場をお借りして実施しています。これは本協会の活動に深刻な影響が出ております。本市の競技場が欲しいところです。

これ以外の事業としては、湘南市民マラソンの競技運営や市駅伝競走大会、大庭城址クロスカントリースキー大会等に多くの参加者の下、取り組んでいます。

また、11月の東日本実業団駅伝大会でプレス工業が8位に入賞し、ニューイヤーズに連続10回の出場権を獲得し、本市のスポーツ界に大きな貢献と影響を与えています。

今後も本協会の発展のため、取り組んでいく所存です。
(陸上競技協会)

健康コラム

お酒には水」の習慣を

管理栄養士 吉川恵美

年末年始は宴会が増えますね。お酒を飲む機会も多くなるのではないのでしょうか?こんな時、体重増加や肝臓の負担を減らして健康に乗り切っていくためには、お酒の合間に水を飲みながら楽しむのがお勧め。利尿作用による脱水症状を防いでアルコールの分解を促しつつ、お酒やおつまみのとり過ぎ防止に貢献してくれます。宴会終了のサインではなく、お酒を飲む時の体のケアとして、「水」を手元に置くことを習慣づけていきましょう♪

アンチ・ドーピングの輪を広げよう

次に、北京パラリンピックの石井雅史さんが、「クリリンな競技のために」選手の立場から」と題して、ご自分の経験を話された。アンチ・ドーピング規則違反となる10の項目をしつかりと理解することが、アスリートにとって大切で、自分の飲み物については目を離さないことが重要である。公平、公正な気持ちを持ち、相手への敬意、フェアプレイなど、スポーツマンが日頃から心がけることを、訴えられた。

(取材 杉刈)

10月21日(日)10時から、藤沢市薬剤師会の主催で、市民講演会が開催されたので、紹介したい。

まず、「その薬飲んで、渡して大丈夫!?」スポーツと薬の関係」と題し、藤沢市民病院主任薬剤師の小室孝孝さんが、ドーピングの問題について、わかりやすく話された。

ドーピングのルールは、すべての国で共通で、「世界アンチ・ドーピング機構(WADA)」が、規程に禁止される物質(薬)や方法を明記し、ドーピング違反は、大会成績の無効に加え、指定期間は試合や練習に参加できず、ドーピングはスポーツをする誰もが気をつけなければならないことであると強調された。

日本人は「うっかりドーピング」が多いので、薬を使用するときは慎重にならなければならない。

薬剤師会では、2016年にスポーツファーマシスト委員会を立ち上げ、アンチ・ドーピングの相談、研修や正しい知識の普及に取り組み、「気軽に薬局に相談を」と呼びかけている。

江ノ電江ノ島駅徒歩1分すばな通り沿い

❄️ lei pikake ❄️
Hawaiian Jewelry

ハワイ直輸入 ハワイアンジュエリー専門店



江ノ島と言えばしらす
希少な鎌倉樽生ビールあります
夜はレストランバー!
テイクアウト イートン
ファーストフードショップ

第5回藤沢市民総合体育大会継承大会

藤沢市剣道連盟

8月19日(日)連日の猛暑が少し涼しくなった夏の日、623名の参加選手により秋葉台体育館にて白熱した剣道の試合が行われました。日頃より稽古で鍛えてきた成果を十分に発揮し、暑さに負けない力強い試合が展開されていました。剣道は「礼に始まり、礼に終わる」と言われており、小学生の選手も試合の最後まで正しい礼法が出来ていたことを嬉しく思います。

大会の最終試合となる「5段・6段・7段(高段者の部)」の決勝戦は、20代の若手選手と50代の熟練選手の対戦となりました。お互いの年齢差が25歳以上でしたが、両者一步も引かない熱い接戦が繰り広げられました。剣道は体力だけでなく、技量や経験も重要であるため、年齢差が親子ほどであっても同じ土俵で試合をすることができる素晴らしいスポーツであると再認識しました。

今年も先生方や保護者のご理解とご協力があり、熱中症や怪我等もなく無事に終了できたことを感謝致します。(高科)



開会式演武 日本剣道形



5段・6段・7段 決勝戦

藤沢市ボウリング協会

藤沢市ボウリング協会では老若男女問わず出来る生涯スポーツとして、ひとりでも多くの方に楽しんでいただけるような活動をしています。

市内にあるボウリング場に協力していただき、初心者向けの健康教室やジュニア教室を開催しています。また、市民まつり等ではミニボウリングを行い、ボウリングの楽しさを身近に感じていただいております。

ここ数年は、プロボウラーの指導のもと、ジュニアボウラーの躍進が目立っています。

高校生・中学生・小学生の全国大会をはじめ、関東大会、県内大会で優勝から上位入賞という成績を収めています。

また、ジュニア以外の選手も、国民体育大会や国際大会において素晴らしい活躍をみせています。

ひとりでも多くの選手が『藤沢スポーツ賞』で表彰していただけるよう、当協会として全力で応援していきたいと思っております。



大会風景

スポーツまつりふじさわ 2018

11月11日(日)秋葉台文化体育館、球技場と秩父宮記念体育館で、スポーツ祭りが開催された。体育協会ははじめ、市内の体育やスポーツに携わる関係団体が共催してのスポーツ祭りには、親子連れや高齢者など多くの市民が参加した。ニュースポーツやパラスポーツを、指導の方々の積極的な声掛けで、会場を訪れた皆さんに親しみを持っていただいた。



会場受付



トランポリン

グラウンド・ゴルフ競技の部

11月11日(日)スポーツまつりふじさわ2018グラウンド・ゴルフ競技が秋葉台球技場で開催されました。

爽やかな天気恵まれ絶好のグラウンド・ゴルフ日和のなか、男性88才、女性84才の高齢者を含む42団体約300名の方が声を弾ませてプレーに興じました。男女別8位までの表彰、ホールインワン賞、男女最高齢参加者に贈呈する寿賞、一発勝負、抽選会と盛りだくさんの賞・企画で最後まで歓声の絶えないグラウンド・ゴルフ競技でした。



プレー風景

編集後記

100回目の広報を担当させていただきました。多くの皆様のご協力をいただき、無事に発行することができ、皆様に感謝申し上げます。
2018年も藤沢の多くのアスリートが、県、関東、全国レベルの大会で活躍されました。
101号は新しいスタートになりますので、広報のバトンをつないで行きたいと思っております。(杉淵・谷本・山口)

第34回

スポーツ人の集い

日時

平成31年2月16日(土)

会場

藤沢市民会館小ホール

午後3時～

第1部 講演会

第2部 式典

藤沢スポーツ賞表彰式
この1年間に活躍した
選手・団体を表彰

プロフィール

大阪府出身 元慶應義塾大学ラグビー部キャプテン
元日本代表キャプテン
ラグビーワールドカップ2015イングランド大会 日本代表選手
ラグビーワールドカップ2019日本大会アンバサダー
＜ポジション＞スタンドオフ・ウイング
トップリーグ東芝ブレイブルーパス・コーチ 藤沢市在住



廣瀬 俊朗氏